

胸懸け十字架の成聖祈禱

君や、祝讃せよ。
我等の神は恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に。
アミン。

輔 司 詠

我等の神や光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。

わかれら
天の王 慰むる者や、眞実の神、在らざる所なき者、満たざる所なき者や、
の寶藏なる者、生命を賜うの主や、來たりて我等の中に居り、我等を諸の
より潔くせよ、至善者や我等の靈を救い給え。
聖なる神、聖なる勇毅聖なる常生の者や、我等を憐めよ。（三次）
聖なる神、聖なる者や、我等を憐めよ。我等を憐めよ。（三次）
光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

至聖三者や我等を憐めよ、主や我等の罪を潔くせよ、主宰や我等の愆を赦
せ、聖なる者や臨みて我等の病を癒し給え、悉く爾の名に因る。
主憐めよ。（三次）

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。
天に在す我等の父や、願わくは爾の名は聖とせられ、爾の国は來たり、爾の旨
は天に行わるが如く地にも行われん、我が日用の糧を今日我等に與え給え、
我等に債ある者を我等免すが如く、我等の債を免し給え、我等を誘に導か
ず、猶我等を凶悪より救い給え。

蓋國と權能と光栄は爾父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に。
アミン。

トロパリ（第一調）

主や、爾の民を救い、爾の業に福を降せ、我が國に福を與え、爾の十字架に
て、爾の住處を護り給え。

司 詠

詠

光榮は父と子と聖神に歸す、今も何時も世世に、アミン。
ハリストス・ティアニア等の辱を得しめざる轉達、造物主の前に変らざる仲保や、罪なる者の祈りを軽ずるなれ、仁慈なるに由りて速に我等を助け賜え、蓋我等切に爾に呼ぶ、生神女や、爾を尊む者に常に代り、急ぎて切に祈り給え。

主に祈らん。
主憐めよ。

祝文

我等の救の為に自由にて十字架に釘うたるるを忍び、至聖なる己の血を以て甘んじて之を聖にし、其十字架を以て悪敵の古き記録を破り、之を以て人類を其苦難より自由にせし主イイイスス・ハリストス我等の神や、切に爾に祈る、願くは爾の恵を以て此の十字架を顧み、爾の祝福と恩寵を降し、之に能力と保護を授け、凡そ爾が救贖と苦難と生命を施す爾の死を記憶して、是を懸け、以て靈と体の保護を受けさせ給え、アーロンの杖を以て不信の反抗者を遠ざけ、凡ての惡魔の誘惑に敵する能力を注ぎ、凡そ之を懸くる者をして靈体の凡ての惡より防ぎ、守り、之に

見えざる爾の賜及びハリストス・ティアニアの諸徳を増し、爾の恩寵とならしめ給え、蓋爾は萬事に福を降し、之を聖にする主なり、我等、光榮、感謝、伏拝を、爾と爾の無原の父と至聖全善生命を施す爾の神とに獻ず、今も何時も世世に。

アミン。

衆人に平安。
爾の神にも。

主爾に。

高きに住み、卑に居る者を顧る主イイイスス・ハリストス我が神や、爾の不當の僕は心と体との首を爾に傾け、切に爾に求む、願くは爾が天の降福を此の十字架に遣わし、聖水を注ぐ時、之に爾の能力と扶助を満たしめ、惡魔の凡ての計を退け、之を破らせ給え、凡そ信じて之を懸くる爾の僕（婢）〔某〕に見ゆると見えざる悉の惡より救う扶助となし、以て爾の恩寵を増加する者とならしめ給え。

蓋ハリストス我が神や、爾は凡てを聖にする主なり、我等光榮を爾と爾の無原の

父と、至聖至善にして生命を施す爾の神とに献ず、今も何時も世世に。
アミン。

詠

※(次いで司祭は、胸懸け十字架に聖水を灌いで曰く。)

此の十字架は、此の聖水の灌がるるを以て降福・成聖せらる、父及び子及び聖神の名に依りてなり。(三次)

アミン。 (毎時応答する)

睿智。

至聖なる生神女や、我等を救い給え。

ヘルワيمより尊くセラフィムに並びなく榮え、貞操を破らずして神言を生みし、
実の生神女たる爾を崇め讃む。

ハリストス神我等の侍や、光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。主憐めよ (三次)。

福を降せ。

ハリストス我等の真の神は、その至淨なる母、克肖捧神なる吾が諸神父、亞使徒

日本の大主教聖ニコライ、及び諸聖人の祈祷に因りて、我等を憐み救わん、彼
は善にして人を愛する主なればなり。
アミン。

詠